

## 「続・熊野街道を歩く(その3) 一浅香山～鳳一」に参加して

長村 常弘



境王子の石碑

浅香山駅から講師の大澤先生の先導で皆さんと元気に第3回熊野街道見学会に出発。起点の大和川堤から、途中「熊野街道」の道標を見ながら堺市内を歩き、境王子推定地で碑文を読み、先生から資料の説明を聞く。

その後、街道跡の不明なところは阪堺電車で移動し、御陵前で下車。山ノ口橋へ。欄干には大勢の人が熊野詣に参る様子を描いたレリーフ。調べると、熊野詣は平安時代、白河上皇はじめ後白河上皇、後鳥羽上皇らが、また、武士や庶民らが蟻の熊野詣と言われるほどに何日もかけて参詣し、大いに賑わった。

次の石津神社の木陰で小休止。まず本殿に参拝し、次に樹齢千年超の大楠に触ってパワーをいただく。与謝野晶子の歌碑もあり、うち1首は娘時代の感傷を詠った「人とわれおなじ十九のおもかげをうつせし水よ石津川の流れ」

石津川を過ぎ、終点の大鳥大社に到着。本殿に参拝して今日の道中の無事を感謝。大澤先生の挨拶と次回の見学会では昼食も考えてみるとの話を聞いて、なんだか楽しかった。そして4時過ぎに解散。

熊野詣の一部を体験できたこの見学会をお世話くださった大澤先生をはじめ事務局のみなさんに改めてお礼申し上げます。



石津神社

## 史跡と産業をめぐるシリーズに参加して 「徳川美術館、トヨタテクノミュージアム、のりたけの森」

河島 博

7月20日(土)朝に歴史博物館を出発し、快晴の下、名古屋方面へ向かって出発しました。

最初の訪問は、尾張徳川家からの寄贈品をもとに私費で運営されている「徳川美術館」で、その歴史、所蔵品等についてボランティアガイドさんから説明を頂きました。名古屋城二の丸御殿の茶室、書院、能舞台の原寸大復元は豪華、絢爛で見事でした。次に、徳川家の武具、刀剣、刀剣、奥道具類の展示も徳川家の権勢をしるばせる名品でした。長船や一文字派の備前刀の特別展を見るチャンスがあり、二千や三千両などの当時の評価書きが添えられた見事なものでした。

広大で全ての見学はできず、ここにしかない「源氏物語絵巻」の公開の際や、別の機会に庭園、古書の見学を兼ねて訪問したいと思いました。

二番目の訪問先は「トヨタテクノミュージアム」でした。グループ発祥の旧本社工場の赤煉瓦建物に、繊維産業と自動車産業に関して展示されていました。

前者は、綿から糸へ更に糸から織物への製造設備、中でも豊田自動織機から高速の最新織機の展示と説明はここのきかないものでした。後者は創業初期に自動車の車体を製造する板金の手作業工程から、エンジンの製造や各種の乗用車やトラックの展示は、マニアにとっては垂涎のお宝のオンパレードでした。

三番目にTOTO、ノリタケなどの森村グループの体験型施設「ノリタケの森」へ訪問しました。創業の地に煉瓦建物も保存し、社名となった則武の土地にあります。まず、高級な陶磁器を見学し、クラフトセンターで歴代の名品(オールドノリタケ)を見学し、見事としか言いようがありませんでした。又、ボンチャイナ(磁器)の製造工程を生地の製造から成型、施釉、絵付け、素描、転写貼り、金焼成にいたる各工程で身近に見ました。繊細、緻密、優雅な作品がいかに熟練した技で作られているかがよくわかりました。

無事予定通りに帰着しました。次回の見学旅行を楽しみにしております。



初めて見る大型環状織機の前で記念撮影



## 徳川美術館・トヨタテクノミュージアム・ノリタケの森見学会アンケート結果

見学会への参加とアンケートへご協力頂きましてありがとうございました、今後の活動の参考にさせて頂きたいと存じます。同じ様な主旨ごとに大別して、ご意見、感想の中から代表例を下記致しました。

参加者数43名(幹事6名を含む)。

### 質問 1:「徳川美術館について」……………総数37名

- ①本日の見学先では最も良かった。とてもいい美術館でよく整備されていた。蔵品の質の良さに驚いた。刀、書院、能舞台を含め、他でみられない良いものを見られた。(11名)
- ②徳川家の歴史の重み、私費での保存、ボランティアの活躍などにも驚いた。(7名)
- ③もう少し時間がほしかった。庭園や蔵書も見たかった。ゆっくり見たかった。(19名)
- ④暑い時で庭をパスして良かった。(1名)。源氏物語絵巻が見られずに残念。(2名)

### 質問 2:「トヨタテクノミュージアムについて」……………総数32名

- ①繊維機械について多くの種類があって興味深く見ることができました。紡績から自動車への移行がよくわかりました。紡織機の始祖がよくわかりました。(14名)
- ②トヨタはすごいのみ。さすが世界のトヨタと思った。手作り時代から、現在のコンピューターによる自動製作へ変わっていく様子がよくわかりました。(8名)
- ③見学時間が短かった。織機は説明もよくわかり良かったが車を見る時間がなかった。(9名)
- ④総評価として普通。機械オンチなので普通。(2名)。説明ガイドをしてほしかった。(1名)

### 質問 3:「ノリタケの森について」……………総数31名

- ①見事な作品美しい食器を見て感激しました。造形焼物の製造工程、ボーンチャイナの馬へ転写などの細かい作業に感心した。4階のオールドノリタケがすばらしかった。(16名)
- ②敷地の広さに驚き。ノリタケチャイナの作品に圧倒された。先駆者の努力が伺える。(5名)
- ③興味深く見た結果時間が足らなかった(4名)。中味は良かったが短縮できたのでは(4名)
- ④陶器の販売を先に見て、あまり良いとは思わなかった。(1名)
- ⑤ノリタケの歴史や見方についてのレクチャーがほしかった。(1名)

### 質問 4:「食事について」……………総数38名

- ①たいへんおいしかった。内容、量、味ともに良かった。(36名)
- ②バスで食事をして、見学時間を長くとれて良かった。(1名)
- ③バスの外で食事をしたかった。(1名)
- ④サービスエリアで自由に自分好みの弁当を購入しては。(1名)

### 質問 5:「今後の企画への参考と致しますのでご自由なご意見をについて」……………総数22名

- ①お世話になりました。楽しい時間がすごせました。ありがとうございました。(11名)
- ②自分のペースでまわられて良かった。現地で時間のとれる企画を今後も願います。(2名)
- ③今回は自主的な運営で、友の会会員の協力の気持ちが強くなればと思う。(1名)
- ④何か一つのテーマを作りそれを掘り起こしていくのもいいかと思えます。近畿一円にまだまだいい遺産があるのでは。史跡探訪と食事セットにしたものがあれば。このような企画で一人では行けない場所(例、大江山の鬼、丹後地方の元伊勢)をお願いします。大阪以外の美術館や博物館のイベント企画をお願いします。足がよくないのでよく歩けませんのでご考慮を(9名)



連載

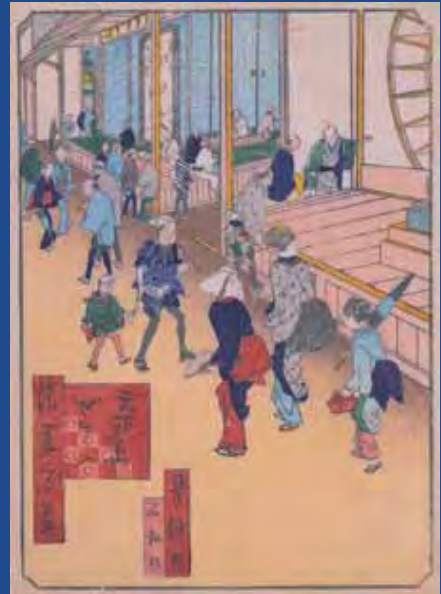
# 「浪花百景」～天下茶屋跡 西成区岸里東～

第18回

千倉 康由

天下茶屋は豊臣秀吉が休息した茶屋があったことから名づけられた地名と伝えられています。今から約400年前の天正年間(1573～1590)住吉神社への参拝や堺政所(江戸時代の奉行所)への往来の途中、天満宮付近の茶屋で休息、茶の湯を楽しみ付近の風景を賞したことについて世人この地を天下茶屋と称するに至ったと伝えられています。

その由来を示す太閤さんが休息した建物は戦災で焼失し、今は楠の大樹の下に石像のみが当時をしのばせています。先般、友の会行事(熊野街道を歩く)の際、立ち寄りました。



## 特別展「戦国アバンギャルドとその昇華 変わり兜×刀装具」

変わり兜とは、ユニークな造形でひと目を惹く兜を総称して呼び慣わしていますが、そのバラエティに富んだ造形は、今日の私たちの目を楽しませるものです。一方、戦国時代から江戸時代にかけて、鐔(つば)などの装剣金具類は、所有者のステイタスを表すべく、贅を尽くした細工がほどこされるようになり、その高い技術と豊かな造形は、サムライ・アートとして海外でも高い人気を博しています。

この展覧会では、戦に臨んだ武将達の緊張感から紡ぎ出された究極のかたちとしての変わり兜や泰平の世に開花したデザイン性の強い変わり兜、極小の世界に繰り広げる多彩なデザインの刀装具などを展示します。また関西大学名誉教授であり考古学の大家であった故・末永雅雄氏が収集した刀装具のコレクションを初公開いたします。



【重要文化財】  
瑞雲花文七宝鐔／個人蔵

【重要文化財】  
黒漆塗桃形大水牛脇立兜／桃山時代／  
福岡市博物館蔵(藤本健八氏 撮影)

**平成25年 11月2日(土)～12月8日(日)**

- ◎休館日／火曜日 ◎開館時間／午前9時30分～午後5時(金曜日は午後8時まで) ※ただし、入館は閉館の30分前まで。
- ◎会場／大阪歴史博物館6階 特別展示室 ◎主催／大阪歴史博物館、産経新聞社

### 編集後記

朝夕は、秋らしくなってきましたが、会員のみなさまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。さて『歴友』24号をお届けいたします。今回は、夏に行われた名古屋方面のバスツアーを中心に誌面を構成してみました。幹事さんだけで行われた見学会ということで、当日はアンケートを実施されました。今回の誌面にはそのアンケートの内容も掲載しました。概ねご好評を得たようですが、まだまだ改善の余地もご指摘いただきました。幹事のみなさんもおつかれさまでした。  
(友の会事務局 加藤)